

山形県感染症発生情報

第10週(平成22年3月8日～平成22年3月14日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	73	△	多発中
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	20	△	
咽頭結膜熱	7	△	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	154	△	多発中
感染性胃腸炎	531	▲	多発中
水痘	37	△	
手足口病	40	▽	
伝染性紅斑	11	△	
突発性発しん	18	△	
百日咳	1	△	
ヘルパンギーナ	1	△	
流行性耳下腺炎	57	▼	多発中
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	2	▽	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	0		
マイコプラズマ肺炎	2	△	
無菌性髄膜炎	0		

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)
	第10週	1週前	2週前	
2類感染症				
結核	5	0	2	27
3類感染症				
コレラ	0	0	0	0
細菌性赤痢	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	6	1	0	8
パラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症				
E型肝炎	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0
つつが虫病	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	1
アメーバ赤痢	0	0	1	2
ウイルス性肝炎	0	0	0	0
急性脳炎	0	0	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
ジアルジア症	0	0	0	0
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
梅毒	0	0	0	0
破傷風	0	1	0	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1
風しん	0	0	0	0
麻しん	0	0	0	0

1 本県のインフルエンザ定点当たり報告数は1.52人で、前週とほぼ横ばいであった。

衛生研究所のウイルス分離結果によると、3月9日現在、型別は新型(A/H1N1)のみ検出されており、季節性は検出されていない。

2 感染性胃腸炎が、4週連続で増加している。県全体の定点当たり報告数は17.7人で、全国平均(11.5人 第9週)を大きく上回っている。

村山・置賜・庄内地区で定点当たり報告数が多い(定点当たり報告数 山形市:28.0人、南陽市:28.0人)。

集団感染事例も発生していることから、患者の吐物や便の処理には十分注意するとともに、手洗いの徹底が重要。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が、庄内・置賜地区で定点当たり報告数が多い(米沢市:16.0人、鶴岡市:9.0人、酒田市:8.7人)。

4 手足口病が、長井市、東根市、米沢市の医療機関で定点当たり報告数が多い(長井市:15.0人、東根市:5.0人、米沢市:4.0人)。

全国的には例年並みの流行となっているが、本県では置賜地区を中心に例年に比べ多発している。

5 結核の患者が村山地区から3名(東南村山2名、北村山1名)、置賜地区から1名(東南置賜)、無症状病原体保有者が村山地区から1名(西村山)、計5名報告された。

6 腸管出血性大腸菌感染症の無症状病原体保有者が、村山地区から6名報告された。この6名は、第9週に報告された患者の関連者で、型別はO111 VT1。

(3月16日現在 山形県衛生研究所)